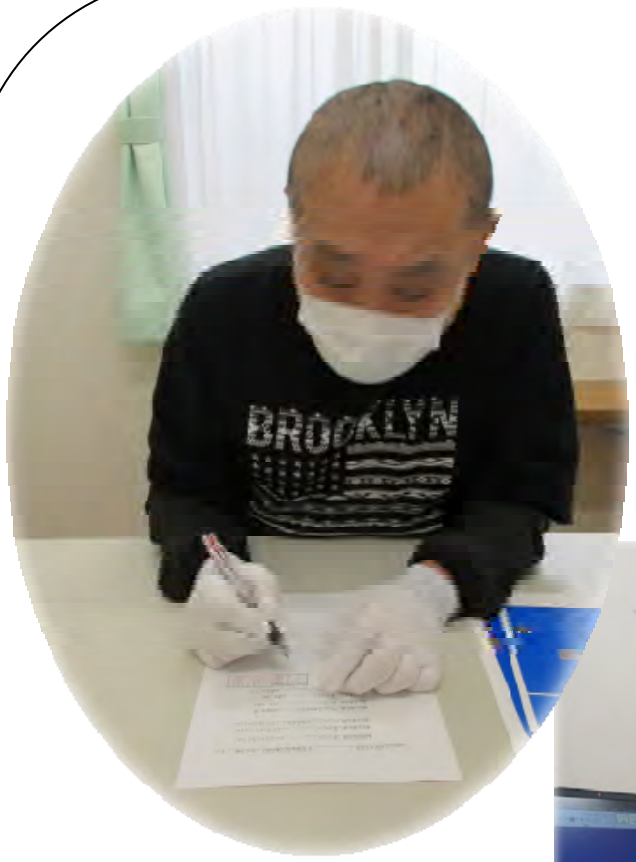
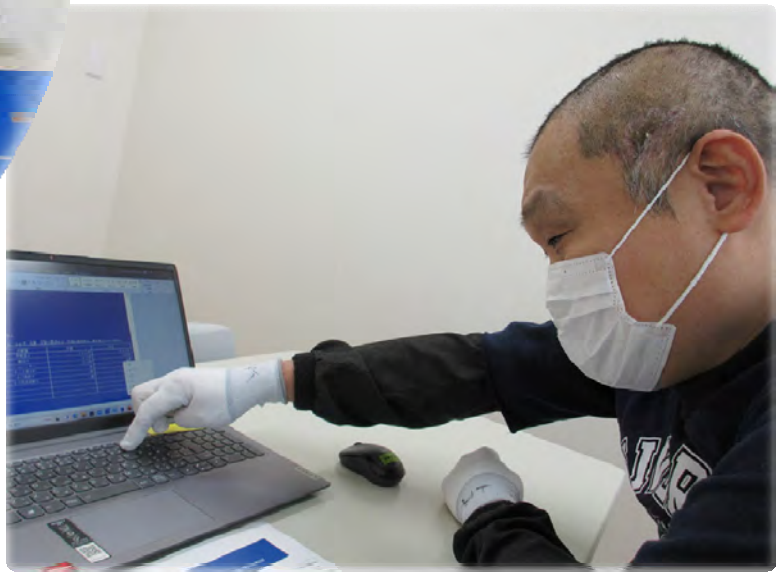
Cotton Up

こっとんあっぷ　Vol.147





初めて“自分の意思”で作成をした

個別支援計画表ですよ！

目次

・「T・D・S・N（Tanpopo Daily Support News）70」

～選択してきたその先に　シーズン２～　＜２～６ページ＞

・法人決算報告　＜７ページ＞

・後援会のご案内・ボランティアさん募集中・編集後記（編集部）　＜８ページ＞

「T･D･S･N（Tanpopo Daily Support News）70 」

～選択してきたその先に　シーズン２～

こっとんあっぷVol.141にて「Ｈさんが自分で個別支援計画を作成する取り組み」をお伝えしました。
“Ｈさんは「やるなら〇、〇書いてみよ」と言い、ボールペンで“〇”を書き入れました。面談を開始して１０分５８秒。初めて、Ｈさんが“自分の個別支援計画表”の説明を受けて、Ｈさん自身で決めた“時間”でした（左写真）。あの“時間”から約１年９ヶ月が経ちました。
今回はＨさん自身の“その後”の「個別支援計画表」について、報告をしていきたいと思います。

〔1〕Hさんの“強み”〔2〕“モニタリング”〔3〕“初めの一歩”〔4〕“取り組みを通して”という内容です。

〔1〕Hさんの“強み”

改めてＨさんの意思表示についてお話したいと思います。やりたい事に対しては「〇〇するよ！〇〇へ行きたいわ！〇〇食べたいわ！」等と。逆に出来ない、不快なことに対しては、様々な方法で「ＮＯ‼」と意思表示をします。口頭で「出来ねえ～」「〇〇なしよ」「〇〇×で」と表したり、破棄する、大声を出す、文字を指で擦り消す等と行動でも表したりします。

文字や数字を読むことが出来ます。但し、文字や数字の書き表し方は、Hさん独特の字体です。ここでは、線で本人なりの数字を記載しています。

Ｈさんが自分で選んだものに〇や×をすることは出来ます。

〇×が交差し、Hさんが“選択”に迷いがあったことが伺えます。

今までの取り組み経緯からも、個別支援計表の“文章表現”は、Ｈさん向けの“文章表現”です。（下記表を参照）Ｈさんが日頃発している“言葉”がＨさんにとっては伝わり易い様です。また、言葉からイメージしにくいモノについては、画像を用いています。

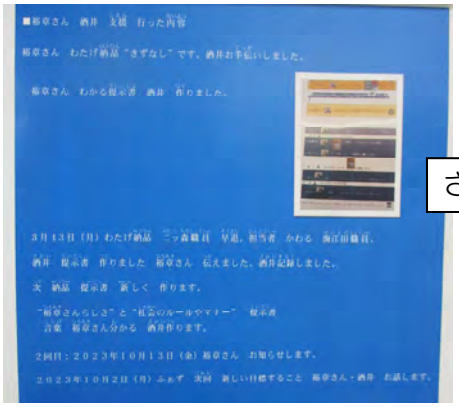
ご家族向け　個別支援計画表	Ｈさんの個別支援計画表
“自発的なコミュニケーションを、誰もが分かる形で発信することが出来る手段、環境を模索し、提供します。“	“Ｈさん　話(はな)すこと　書(か)くこと　見(み)ること　聴(き)くこと　分(わ)からないこと知(し)る　酒井　文字(もじ)・絵(え)・写真(しゃしん)・モノ使(つか)って　お手伝(てつだ)いします。”

以上、Ｈさんの意思表示の評価、“Ｈさんの強み”、出来ること、出来そうなこと、今までの取り組み経緯等を活かして、〔2〕〔3〕の支援を組立ていきました。

〔2〕“モニタリング”

あの時、支援者からＨさんが説明を受けて自身で“〇”（承諾）をした“個別支援計画表”。その内容に添って、Ｈさんが必要とする支援を受けながら、調子が良い日も調子が出ない日もありながら、Ｈさんらしく活き活きと活動をしてきました。

Ｈさんが取り組んできた一年間の“目標”の取り組み状況や評価、“日々の活動の様子”を支援者が記録。それらの記録を基に、半年毎のＨさん用のモニタリングを支援者が作成しました（下写真）。

半年後のモニタリング	一年後のモニタリング
 さらに半年後…	
Ｈさんが実際に一年間の目標達成に向かって、取り組んできた状況や評価を記載しました。 「半年後」と「一年後」で比較すると、取り組みの内容が増えています。 一年間で取り組んできた経緯が視覚的にも分かりやすい様に工夫をして作成をしました。	

このモニタリングを基にして、個別支援計画表に沿ってＨさんが支援を受け、Ｈさんらしく活動が行えてきたかなど、Ｈさんと支援者で面談をしました。

結果、それぞれにＨさんから“〇”（承諾）を得られることが出来ました。それにしても、面談最後にＨさんがペンを持ち記してくれる“その瞬間”は、支援者として今までになかった“新たなる緊張感の場”となっています。

ここで余談、前者と後者を選択する行動について、以前、スーパーバイザーからのアドバイスで、自閉症の方の中には選択する際に、前者を必ず選択してしまう方がいるというコトを聴いたことがありました。そこで、一年後のモニタリングの際には、最後の聴き方を×”（承諾できない）か“〇”（承諾）か“という順で聴いてもみました。結果、どちらの質問も答えは同じで“〇”（承諾）でした。

〔3〕“初めの一歩”

しかし、これまでの“〇”（承諾）を得てきた“Ｈさんの個別支援計画表”。内容は、あくまで支援者がＨさんの日々の行動評価を基に、ご家族、作成者を中心に、支援者全体で、Ｈさんにとって必要な支援は何かと想像をし、Ｈさんの意思を汲みとれるよう努めながら作成をしてきた内容であって、実際には、“Ｈさんの意思で作成”をしてきた訳ではありません。

Ｈさん自身の“意思”を汲み込んだ個別支援計画表を作成していく“初めの一歩”として取り組んだ内容についてお話をしていきたいと思います。

取り組みのヒントとなったのも、今までの取り組み経緯からです。現在もＨさんは毎日作業の始まりに、種類や量を自分で選択しています。その“毎日出来ていること”や“日頃の評価よりやってみたら出来るかも”を活かして、支援を組立てました。

パソコンの使用方法
ルールとマナーの手順書

①手袋・マスク　つけます。
②手　ふいて　みず　なしです。
③血の傷いじくらない。
④「ぎゃあー」の声ださなくていいですよ。
⑤ようふくで、つばやんない。つばのむ。
⑥手　かまない！
⑦パソコン電源　酒井いれます。
⑧パソコン　使い方　酒井おしえます。
⑨Ｈさん　月間作業表
１０月、１１月、１２月、１月、２月、３月
Ｈさん　パソコン　数　記入します。
⑩酒井とＨさん　グラフ　プリントアウト。
⑪Ｈさんグラフ　みて　一番多い数　一番少ない数　記入。
⑫酒井とＨさん　一番多い数　一番少ない数　記録表　プリントアウト。
⑬Ｈさん一番多い数　一番少ない数　記録表みて
個別支援計画表　記入。
⑭酒井とＨさん　Ｈさん個別支援計画表２部　プリントアウト。
⑮酒井とＨさん　個別支援計画表　話して　Ｈさん○×つける。
⑯パソコン電源　酒井きります。

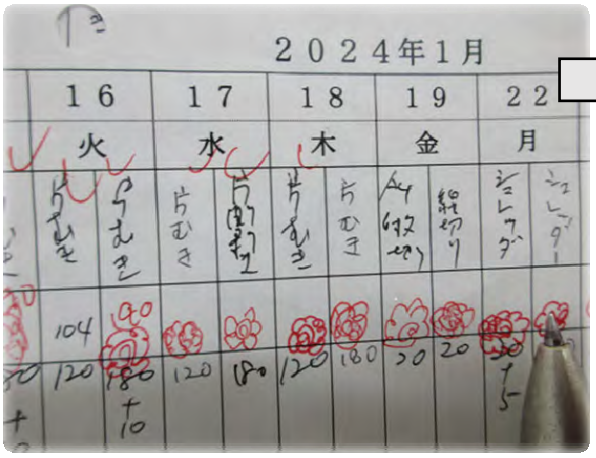
Ｈさんがこれまで取り組んできた作業記録を基に、作業種毎に“Ｈさんの意思で数を選択”して個別支援計画表に掲載し作成出来るように支援を考えていきました。

“Ｈさんが数を選択し掲載する”。先に挙げたように“Ｈさんの強み”は文字や数字を読むことです。しかし、文字や数字の書き表し方は、Ｈさん独特の字体です。そこで‼ご家族からの情報として、Ｈさんは“機械が好き“というお話がありました。「機械≒パソコン？！」を使用してみてはどうだろうかと。但、何かしらの原因で、Ｈさんがパソコンに向かい「ＮＯ」を示す行動をとってしまったらどうしようかと💦

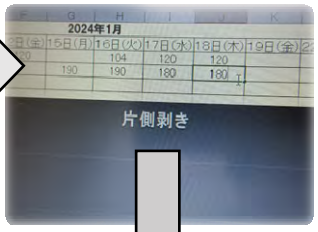
そんな期待と不安を抱えながらも、準備は入念に‼‼今までの支援の中でＨさん自身が“ルールとマナー”を意識して行動することが出来てきた取り組みを参考に、パソコンの使用方法と“ルールとマナー”を組み合わせた手順書の作成（左写真）と“Ｈさんの意思で数を選択”できるような左表手順⑨～⑬の準備をしました。

取り組みを開始。取り組みの内容をＨさんが見て分かりやすい様に、完成品モデルを見て“何を・どのように作るか”を一緒に見て確認しました。パソコン操作については、マウス操作、入力操作を手添えや行動モデルでお伝えしました（右写真）。

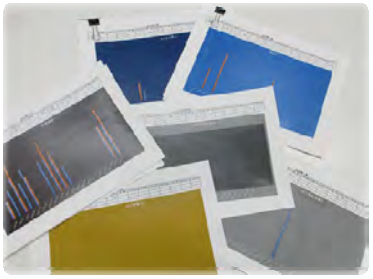
Ｈさんが“自分で作る”個別支援計画表

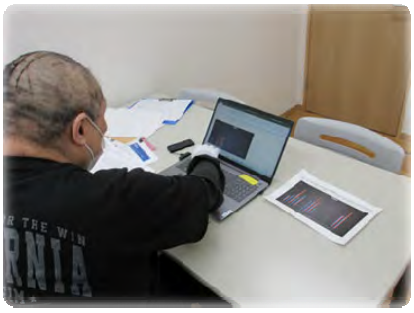


Ｈさんが毎日使用している月間作業表。
作業の種類と目標値を本人が決めています。
作業終了時に、本人と支援者で完成数を確認。
花丸が目標達成、数字は達成できなかったが、完成数を支援者が記入しています。



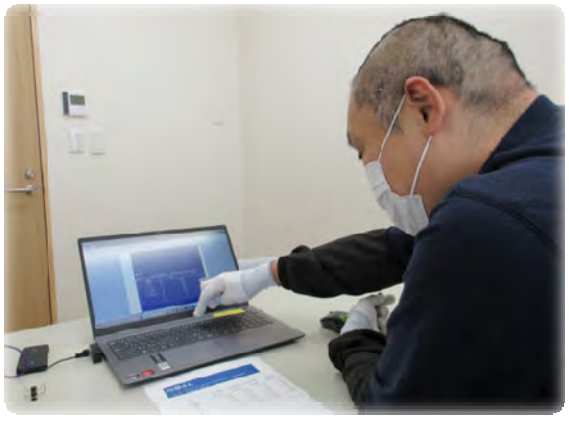
月間作業表を見ながら、Ｈさんが完成数をパソコンに入力します。



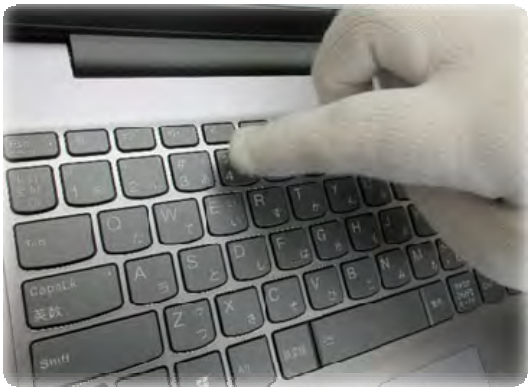


作業の種類別で月ごとの棒グラフが完成。

作業種ごとの棒グラフを見て、一番多い数と一番少ない数を表に入力します。



一番多い数、一番少ない数を見て、その中からＨさんが作業数を選択。
　個別支援計画表の作業欄に入力して作成をしました。



④“取り組みを通して”

Ｈさんは“ルールとマナー”を意識して、適切な方法でパソコンを使用することが出来ていました。

マウスを使用してカーソルを合わせて、クリックをするという操作は、支援者からＨさんへ上手にお伝えすることは出来ませんでした。しかし、キーボードを使用しての“数字入力”については、例：月間作業記録「〇月〇日午前〇〇作業１８０本」を観ながら、Ｈさんが「１」「８」「０」と上手にキーボードを押し入力することが出来ていました。入力を続けていくうちに本人が「０」のボタンを“強め”に押したままにすると「０００００００」と入力されてしまうハプニングがありました。この操作に対して、支援者が“０ぉっ”と短くお伝えし、やさしく、素早くキーボードを押した指を離す操作で、伝え直しました。結果「０」と入力することができました。

パソコンの反応は、“今取った自分の動作が、瞬時に結果として見える”Ｈさんにとって、“どのくらいの力加減が適切なのか”を明確にしてくれる“ツール”の様でした。

余談、Ｈさんへ長年支援者側から上手く伝えられていない“やさしく”や“そっと”という抽象的な表現の意味や行動があります。Ｈさんの“強めの筆圧”に対して、今回のことが支援のヒントになればと思いました。

棒グラフの作成は約１時間かけて行いました。翌日約 1 時間半かけて、多い数と少ない数を入力し、作業数の選択に取り組みました。全て入力し終えた後、Ｈさんがパソコンの画面上で作業種毎の入力数を確認。Ｈさんの“〇”承諾を受けて、プリントアウトしました（下写真）。

Ｈさんの手元に初めて、個別支援計画表が届いてから、約 17 年 9 か月後。Ｈさんが自身の“意思”を汲み込んだ“Ｈさん自身の個別支援計画表”を作成することが出来ました。しかし、内容としてはまだ一項目です。本当に“初めの一歩”を踏み出したばかりです。この取り組みはシーズン３へと続いていきます。

ゆくゆくは、Ｈさん自身が“新しい個別支援計画表の目標”を立てていける。そうすることで、より“Ｈさん自身の生活が豊かになっていく”のではないのかと思っています。

最後に、２０２４年４月に私自身の職場異動がありました。Ｈさんの担当は３月末で終わりとなりました。後日、Ｈさんのお母様を介して、Ｈさんが酒井の異動の話を聞いた帰り道の車内で、“残念だよ”と運転する母に言ったそうです。母自身も本人がそう言う事を初めて言ったので驚いたとおしゃっていました。そんな素敵な言葉をＨさん自身が“選び”伝えてくれたことを、心より感謝しています。

文責：酒井真俊

法人単位貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

（単位：円）

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
0001 流動資産	79,563,886	80,329,151	−765,265	0006 流動負債	7,274,090	4,777,199	2,496,891
1111 現金預金	56,260,956	56,267,588	−6,632	2111 短期運営資金借入金			
1121 有価証券				2112 事業未払金			
1131 事業未収金	21,975,369	21,936,316	39,053	2113 その他の未払金	1,948,276	1,184,849	763,427
1132 未収金	378,693	971,702	−593,009	2114 支払手形			
1133 未収補助金				2121 役員等短期借入金			
1134 未収収益				2122 1年以内返済予定設備資金借入金	976,000		976,000
1135 受取手形				2123 1年以内返済予定長期運営資金借入金			
1141 貯蔵品				2124 1年以内返済予定リース債務			
1142 医薬品				2125 1年以内返済予定役員等長期借入金			
1144 給食用材料				2127 1年以内返済予定拠点区分間長期借入金			
1161 立替金				2128 1年以内返済予定ｻｰﾋﾞｽ区分間長期借入金			
1162 前払金				2129 1年以内支払予定長期未払金			
1163 前払費用	948,868	1,153,545	−204,677	2131 未払費用	2,483,531	2,543,333	−59,802
1171 1年以内回収予定長期貸付金				2132 預り金	1,738	7,742	−6,004
1173 1年以内回収予定拠点区分間長期貸付金				2133 職員預り金	1,860,645	1,041,275	819,370
1174 1年以内回収予定ｻｰﾋﾞｽ区分間長期貸付金				2141 前受金	3,900		3,900
1175 短期貸付金				2142 前受収益			
1177 拠点区分間貸付金				2144 拠点区分間借入金			
1178 サービス区分間貸付金				2145 サービス区分間借入金			
1181 仮払金				2151 仮受金			
1191 その他の流動資産				2152 賞与引当金			
1192 徴収不能引当金				2211 その他の流動負債			
0002 固定資産	465,006,754	478,882,688	−13,875,934	0007 固定負債	113,579,950	114,673,800	−1,093,850
0003 基本財産	367,957,359	380,651,711	−12,694,352	2311 設備資金借入金	94,024,000	95,000,000	−976,000
1211 土地	148,225,892	148,225,892		2312 長期運営資金借入金			
1212 建物	219,731,467	232,425,819	−12,694,352	2313 リース債務			
1221 定期預金				2314 役員等長期借入金			
1222 投資有価証券				2316 拠点区分間長期借入金			
0004 その他の固定資産	97,049,395	98,230,977	−1,181,582	2317 サービス区分間長期借入金			
1311 土地	55,782,102	55,782,102		2321 退職給付引当金	19,555,950	19,673,800	−117,850
1312 建物	6	6		2322 長期未払金			
1313 構築物	5,309,327	5,655,287	−345,960	2411 その他の固定負債			
1314 機械及び装置				負債の部合計	120,854,040	119,450,999	1,403,041
1315 車輌運搬具	492,032	748,742	−256,710	純資産の部			
1316 器具及び備品	764,957	857,807	−92,850	0009 基本金	41,510,583	41,510,583	
1317 建設仮勘定				3111 基本金	41,510,583	41,510,583	
1319 有形リース資産				0010 国庫補助金等特別積立金	68,619,849	72,901,927	−4,282,078
1321 権利				3211 国庫補助金等特別積立金	68,619,849	72,901,927	−4,282,078
1322 ソフトウェア				0011 その他の積立金	14,000,000	14,000,000	
1323 無形リース資産				3221 その他の積立金	14,000,000	14,000,000	
1324 投資有価証券				0012 次期繰越活動増減差額	299,586,168	311,348,330	−11,762,162
1325 長期貸付金				3311 次期繰越活動増減差額	299,586,168	311,348,330	−11,762,162
1327 拠点区分間長期貸付金				3312 （うち当期活動増減差額）	−11,762,162	−21,033,070	9,270,908
1328 サービス区分間長期貸付金							
1329 退職給付引当資産	19,555,950	19,673,800	−117,850				
1331 長期預り金積立資産							
1332 その他の積立資産	14,000,000	14,000,000					
1333 差入保証金							
1334 長期前払費用	666,625	1,034,837	−368,212				
1341 その他の固定資産	478,396	478,396		純資産の部合計	423,716,600	439,760,840	−16,044,240
資産の部合計	544,570,640	559,211,839	−14,641,199	負債及び純資産の部合計	544,570,640	559,211,839	−14,641,199

脚注
1．減価償却費の累計額
2．徴収不能引当金の額

社会福祉法人名　社会福祉法人　横須賀たんぽぽの郷

法人単位資金収支計算書

（自）令和 5年 4月 1日（至）令和 6年 3月31日

（単位：円）

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)−(B)
事業活動による収支	収入	0184 障害福祉サービス等事業収入	138,015,047	138,073,111	−58,064
		0197 その他の収入			
		0198 借入金利息補助金収入			
		0199 経常経費寄附金収入	322,000	320,000	2,000
		0200 受取利息配当金収入	1,307	943	364
		0201 その他の収入	2,658,700	2,706,274	−47,574
		0202 資産評価損益等による資金増加額			
		事業活動収入計(1)	140,997,054	141,100,328	−103,274
	支出	0129 人件費支出	118,128,895	118,005,267	123,628
		0130 事業費支出	13,447,681	13,119,561	328,120
		0131 事務費支出	11,050,418	10,860,468	189,950
		0137 支払利息支出	712,500	712,500	
		0138 その他の支出	966,600	934,750	31,850
		0140 資産評価損益等による資金減少額			
		事業活動支出計(2)	144,306,094	143,632,546	673,548
		事業活動資金収支差額(3)=(1)−(2)	−3,309,040	−2,532,218	−776,822
施設整備等による収支	収入	0204 施設整備等補助金収入			
		0205 施設整備等寄附金収入			
		0206 設備資金借入金収入			
		0207 固定資産売却収入			
		0208 その他の施設整備等による収入	368,212	368,212	
		施設整備等収入計(4)	368,212	368,212	
	支出	0143 設備資金借入金元金償還支出		976,000	−976,000
		0144 固定資産取得支出	240,000	240,000	
		0145 固定資産除却・廃棄支出			
		0147 その他の施設整備等による支出			
		施設整備等支出計(5)	240,000	1,216,000	−976,000
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)−(5)	128,212	−847,788	976,000
その他の活動による収支	収入	0210 長期運営資金借入金元金償還寄附金収入			
		0211 長期運営資金借入金収入			
		0212 長期貸付金回収収入			
		0213 投資有価証券売却収入			
		0214 積立資産取崩収入	1,767,350	2,259,350	−492,000
		0217 サービス区分間長期借入金収入			
		0220 サービス区分間長期貸付金回収収入			
		0221 事業区分間繰入金収入			
		0223 サービス区分間繰入金収入			
		0224 その他の活動による収入			
		その他の活動収入計(7)	1,767,350	2,259,350	−492,000
	支出	0149 長期運営資金借入金元金償還支出			
		0150 長期貸付金支出			
		0151 投資有価証券取得支出			
		0152 積立資産支出	1,639,700	2,141,500	−501,800
		0155 サービス区分間長期貸付金支出			
		0160 拠点区分間繰入金支出			
		0161 サービス区分間繰入金支出			
		0162 その他の活動による支出			
		その他の活動支出計(8)	1,639,700	2,141,500	−501,800
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)−(8)	127,650	117,850	9,800
予備費支出(10)				—	
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)−(10)	−3,053,178	−3,262,156	208,978
前期末支払資金残高(12)			75,551,952	75,551,952	
当期末支払資金残高(11)+(12)			72,498,774	72,289,796	208,978

たんぽぽの郷後援会のご案内

たんぽぽの郷後援会は、横須賀・三浦地区に在住の「自閉症」という障害を伴った人たちが、地域の一員として自分らしく生活していくために、必要な支援に取り組んでいる【社会福祉法人横須賀たんぽぽの郷】の活動を支援する事を目的に組織されました。

▼　年 会 費	個人会員	１口	３，０００円
	団体会員	１口	１０，０００円

たんぽぽの郷後援会にご理解、ご協力くださる方は、下記の郵便為替口座をご利用ください。

郵 便 為 替 口 座 番 号　　００２４０－９－１７４７４

郵便為替口座加入者名　　た ん ぽ ぽ の 郷 後 援 会

★★★★★☆彡☆☆☆☆☆☆☆★★★★★☆☆☆☆☆☆☆彡☆彡☆彡☆☆☆☆☆☆★★★★★☆彡☆☆

ボランティアさん　募集中

わたげ・ふぁず・こっとんはうすで、自閉症を伴う方々と一緒に何か活動してみませんか？
作業の検品、余暇活動の支援、清掃等、お手伝いをしていただける方がいましたら、ご連絡ください！！

〈連絡先〉

わ　た　げ　　**電話:046－844－0038　（担当:いまうじ）**
E－mail:　aaq40690@hkg.odn.ne.jp

ふ　ぁ　ず　　**電話:046－854－5004　（担当:いしい）**
E－mail:　faz2022@themis.ocn.ne.jp

こっとんはうす　　**電話:046－852－8355　（担当:ひがしがわ）**
E－mail:　tanpoponosato-ch-rg250e@jcom.home.ne.jp

★★★★★☆彡☆☆☆☆☆☆☆★★★★★☆☆☆☆☆☆☆彡☆彡☆彡☆☆☆☆☆☆★★★★★☆彡☆☆

編集後記　～編集部～

今号も「こっとんあっぷ」に目を通していただき、ありがとうございます。

以前、編集担当になったばかりの頃「こっとんあっぷは編集後記から読んでるの！楽しみにしてる！」というお言葉を頂いたことがあります。「え！そっちからなの!?」と驚くと同時に、本文のみならず、隅々まで読んでいただけていることに嬉しくも感じました。それとは別に、お気づきだと思いますが、プレッシャーにも感じているわけです。裏話をすると、編集部内で編集後記を書く担当を決めていて、今回は私の番が回ってきました。新聞やインターネット、我が子の学級通信、他の施設から寄せられる広報誌…何か「ネタ」はないものかと、探してしまうわけです。ちょっと探しただけでも、本当にたくさんの言葉、考え、意見があり、世の中は情報で溢れているのだと思い知ります。今号で紹介したHさんも、生活が豊かになることを目指して、職員と整理した情報の中から選択を続けています。私も「自分はどう思い、どうしたいのか」を常に考えて行動する人になりたい、ならなければと思っています。まずは…今日の夕飯を決めます(笑)　（田崎）

編集　社会福祉法人 横須賀たんぽぽの郷　〒239-0824　横須賀市西浦賀３－１３－２１
TEL:046-844-0038／FAX：046-844-0036　E－mail：aaq40690@hkg.odn.ne.jp